



# 交通安全宣言 50周年

We declare  
"Traffic Safety"  
交通安全  
宣言区

品川区  
Shinagawa City

## 交通安全宣言

わが国の経済は、国際的地位の向上と開放体制への移行を背景に、

今後さらに一層の進展が予想される。

しかしながら、その反面、交通事故はますます悪化し、

悲惨な交通事故はあとをたたず

「交通戦争」といわれる事態を招いている。

品川区は、都心と東海地方を結ぶ主要地点に位置し、

その交通量は激増の一途をたどるばかりでなく、

区内の交通事故は逐年重大化する傾向にあり

区民の生活をおびやかしていることは

まことに憂慮にたえない。

よって品川区は本日进行し、人命尊重の基本理念に基づき、

区の総力を結集し、交通安全区たることを宣言する。

昭和四十二年七月二日

品川区



Shinagawa City  
品川区

平成29年7月2日、品川区は交通安全宣言から50周年を迎えました。



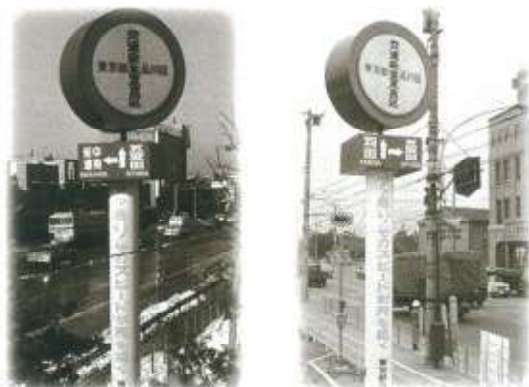
## 「交通戦争」と呼ばれた時代

昭和30年代以降、全国的な自動車交通の急成長に伴い、区内の自動車保有率も飛躍的に伸びていきました。その結果、交通事故が急増し、昭和34年には全国の年間交通事故死者数が初めて1万人を超え「交通戦争」と呼ばれるようになりました。

区内でも、昭和31年に575件であった交通事故件数は、昭和35年に8,758件と15倍にもなり、深刻な状態となっていました。



大崎広小路の交通混雑状況（昭和31年2月）



交通安全宣言を記念して設置された交通安全宣言塔  
（左：戸越三丁目 右：北品川三丁目）

## 交通安全宣言

交通事故件数は昭和40年代に入り減少傾向になってきたものの、重傷者数は昭和40年の200人を底に昭和42年には253人、軽傷者数も1,738人から2,395人と増加していました。

そのため、区は昭和42年7月2日の交通安全区民大会で「区の総力を結集し、交通事故の根絶を期するため、ここに交通安全区たることを宣言する」と交通安全宣言を行いました。

## 50周年を迎えて

平成29年7月2日、区は交通安全宣言から50周年を迎えました。交通事故発生件数および死者数は年々減少傾向にありますが、依然として多くの方が交通事故で死傷されている状況に変わりはありません。

区は今後もさらなる交通安全対策を実施し、区民が安心して暮らせる、安全・円滑かつ快適な交通社会の実現を目指していきます。



## 「しながわ交通安全フェア」開催

交通安全宣言50周年を記念して、「しながわ交通安全フェア」を開催します。

当日は記念式典、交通安全教室のほか、白バイや警察の特殊な車両展示も行いますので、皆様のお越しをお待ちしております。

日時：平成29年11月18日（土）

午前10時から正午まで

場所：しながわ中央公園多目的広場（西品川1丁目28番）

内容：記念式典、スタントマンの交通事故再現による交通安全教室、警察車両展示ほか

## 品川区交通事故発生状況の推移

